

一宮西病院 2025プラン

2019年5月 策定

【一宮西病院の基本情報】

医療機関名：一宮西病院

開設主体：社会医療法人杏嶺会

所在地：一宮市開明字平1番地

許可病床数：

(病床の種別) 一般 465床

(病床機能別) 高度急性期 8床
急性期 457床

稼働病床数：

(病床の種別) 一般 465床

(病床機能別) 高度急性期 8床
急性期 457床

休床なし

診療科目：内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、内分泌・糖尿病内科、脳神経内科、小児科、外科、消化器外科、肛門外科、乳腺・内分泌外科、呼吸器外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、泌尿器科、眼科、皮膚科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、臨床検査科、病理診断科、麻酔科、救急科

職員数：

常勤のみ 1,144人

・医師 150人 ・看護職員 532人 ・専門職 292人
・事務職員 170人

(2019年4月1日現在)

【1. 現状と課題】

① 構想区域の現状

(人口の見通し)

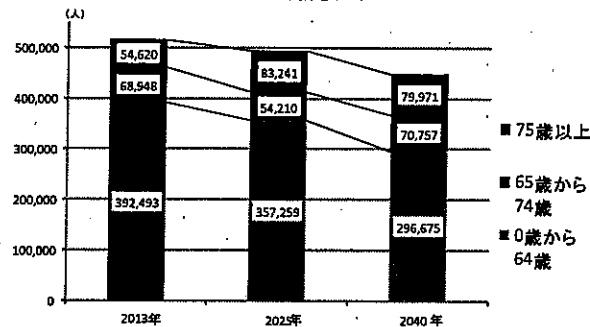
- 2040年に向け総人口は減少していきますが、減少率は県全体より高くなっています。65歳以上人口は増加していきますが、増加率は県全体より低くなっています。

<人口の推移>

※ () は 2013 年を 1 とした場合の各年の指数

区分	総人口			65歳以上人口			75歳以上人口		
	2013年	2025年	2040年	2013年	2025年	2040年	2013年	2025年	2040年
県	7,434,996 (1.00)	7,348,135 (0.99)	6,855,632 (0.92)	1,647,063 (1.00)	1,943,329 (1.18)	2,219,223 (1.35)	741,801 (1.00)	1,165,990 (1.57)	1,203,230 (1.62)
尾張西部	516,061 (1.00)	494,710 (0.96)	447,403 (0.87)	123,568 (1.00)	137,451 (1.11)	150,728 (1.22)	54,620 (1.00)	83,241 (1.52)	79,971 (1.46)

<尾張西部構想区域>



(医療資源等の状況)

- 人口 10 万対の病床数は、県平均の 91.4% ですが、療養病床数は県平均の 61.3% と少なくなっています。人口 10 万対の医療従事者数については、医師数、歯科医師数が 8 割程度とやや少なくなっています。
- DPC 調査結果 (DPC 調査参加施設: 6 病院) によると、構想区域内において、ほぼ全ての主要診断群の入院及び救急搬送実績があり、緊急性の高い傷病 (急性心筋梗塞・脳卒中・重篤な外的障害) 及び高齢者の発生頻度が高い疾患 (成人肺炎・大腿骨骨折) の入院実績があることから、区域内に急性期入院機能を有していると考えられます。
- 消防庁データに基づく救急搬送所要時間については県平均とほぼ同様であり、DPC 調査データに基づく緊急性の高い傷病 (急性心筋梗塞・再発性心筋梗塞、くも膜下出血・破裂脳動脈瘤、頭蓋・頭蓋内損傷) の入院治療を行っている施設までの移動時間は、30 分以内で大半の人口がカバーされていることから、医療機関への交通アクセスや医療機関の受け入れ体制等に大きな問題が生じていないと考えられます。
- 高度な集中治療が行われる特定入院料の病床については、2016 年 3 月現在、構想区域内 (3 病院) において、救命救急入院料・特定集中治療室管理料 (ICU)・新生児特定集中治療室管理料 (NICU)・新生児治療回復室入院医療管理料 (GCU) の届出がされています。
- 2013 年度 NDB データに基づく特定入院料の自域依存率は高い状況にあります。

<医療資源等の状況>

区分	愛知県①	尾張西部②	②/①
病院数	325	19	—
人口10万対	4.4	3.7	84.1%
診療所数	5,259	328	—
有床診療所	408	26	—
人口10万対	5.5	5.0	90.9%
歯科診療所数	3,707	226	—
人口10万対	49.9	43.8	87.8%
病院病床数	67,579	4,286	—
人口10万対	908.9	830.5	91.4%
一般病床数	40,437	2,714	—
人口10万対	543.9	525.9	96.7%
療養病床数	13,806	588	—
人口10万対	185.7	113.9	61.3%
精神病床数	13,010	960	—
人口10万対	175.0	186.0	106.3%
有床診療所病床数	4,801	303	—
人口10万対	64.6	58.7	90.9%

区分	愛知県①	尾張西部②	②/①
医療施設従事医師数	14,712	854	—
人口10万対	197.9	165.5	83.6%
病床100床対	20.3	18.6	91.6%
医療施設従事歯科医師数	5,410	318	—
人口10万対	72.8	61.6	84.6%
薬局・医療施設従事薬剤師数	10,525	655	—
人口10万対	141.6	126.9	89.6%
病院従事看護師数	36,145	2,413	—
人口10万対	486.1	467.6	96.2%
病床100床対	49.9	52.6	105.4%
特定機能病院	4	0	—
救命救急センター数	22	2	—
面積(km ²)	5,169.83	193.17	—

(入院患者の受療動向)

○ 入院患者の自域依存率は、慢性期がやや低いものの、他の機能区分は80%前後で高い水準にあります。

<2013年度の尾張西部医療圏から他医療圏への流出入院患者の受療動向>

(単位：上段 人/日、下段：%)

患者住所地	医療機関所在地												県外	合計	
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部			
尾張西部医療圏	高度急性期	33	*	*	*	235	14	*	*	*	*	*	*	15	297
		11.1%	—	—	—	79.1%	4.7%	—	—	—	—	—	—	5.1%	100.0%
	急性期	65	11	*	*	755	31	*	*	*	*	*	*	35	897
		7.2%	1.2%	—	—	84.2%	3.5%	—	—	—	—	—	—	3.9%	100.0%
	回復期	54	13	26	*	875	33	*	*	*	*	0	*	27	1,028
		5.3%	1.3%	2.5%	—	85.1%	3.2%	—	—	—	—	—	—	2.6%	100.0%
慢性期	23	23	30	*	321	35	*	*	*	0	0	*	11	443	
	5.2%	5.2%	6.8%	—	72.5%	7.9%	—	—	—	—	—	—	2.5%	100.0%	

<2013年度その他医療圏から尾張西部医療圏への流入院患者の受療動向>

(単位：上段 人/日、下段：%)

医療機関所在地	患者住所地												合計		
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部			
尾張西部医療圏	高度急性期	*	*	*	*	235	*	*	*	*	0	*	*	235	
		—	—	—	—	100.0%	—	—	—	—	—	—	—	100.0%	
	急性期	10	21	16	*	755	34	*	*	*	*	*	*	11	847
		1.2%	2.5%	1.9%	—	89.1%	4.0%	—	—	—	—	—	—	1.3%	100.0%
	回復期	13	30	19	*	875	44	*	*	*	*	*	*	21	1,002
		1.3%	3.0%	1.9%	—	87.3%	4.4%	—	—	—	—	—	—	2.1%	100.0%
慢性期	12	40	*	0	321	49	0	0	0	0	0	*	*	422	
	2.8%	9.5%	—	—	76.1%	11.6%	—	—	—	—	—	—	—	100.0%	

② 構想区域の課題

- 県内病院における医師不足の影響に関する調査結果（2015年6月末時点）によると、診療制限をしている病院数は8病院あり、区域内病院数（19病院）に対する割合が42.1%と高くなっていますが、関係機関の協力連携等により、地域全体でカバーされており、今後も見守っていく必要があります。
- 回復期機能の病床を確保する必要があります。

③ 自施設の現状

1. 理念

「街と人が明るく健康でいられますように」

2. 基本方針

- ・24時間365日、いつでもどんな怪我や病気も断らない
- ・最新の設備と高度な医療技術の提供
- ・患者さま中心のきめ細かい医療サービスの実践

3. 診療実績

	2017年	2018年
届出入院基本料	7対1入院基本料	急性期一般入院料1
平均在院日数	10.9日	10.1日
病床利用率	98%	98%
1日あたり入院患者数	430人	449人
入院診療単価	71,806円	75,224円
1日あたり外来患者数	916人	953人
外来診療単価	11,216円	12,161円
手術件数(全身麻酔)	4695件(2528件)	5317件(2942件)
分娩件数	588件	645件
救急搬送数	5848件	6590件
(うち入院数)	2872人	3475人

4. 職員数等

常勤のみ 1,144人

- ・医師 150人
- ・看護職員 532人
- ・専門職 292人
- ・事務職員 170人

(2019年4月1日現在)

5. 特徴

病床機能においては高度急性期と急性期の機能を有しています。地域の総合病院として29の診療科を有し地域医療に努めています。とくに「がん」、「脳血管疾患」、「心疾患」、「救急医療」に注力しています。また、健診センターを有し予防医療にも努めています。2018年度よりDPC特定病院群として指定されています。

また、4病院(上林記念病院、尾西記念病院、いまいせ心療センター、一宮医療療育センター)、1施設(老人保健施設やすらぎ)、他関連の15事業所と連携をとりながら、杏嶺会として急性期から在宅支援まで切れ目のない医療提供・介護支援を行っています。

6. 政策医療（5疾病5事業）について

○がん

胃がん、大腸がん、乳がん、肺がん、肝がんの5大がんだけでなく、頭頸部、泌尿器科、婦人科系のがんについても同様に注力しています。5大がんの入院数は下表のとおりであり、尾張西部医療圏のがん診療を十分担っていると考えます。

放射線診断医5名による読影体制、リニアックによる放射線治療、化学療法、また、手術においては外科、呼吸器外科、泌尿器科、産婦人科において胸腔鏡、腹腔鏡下の低侵襲手術を積極的に行っています。

【5大がんの退院患者数（DPCデータより）】

（単位：人）

	胃がん	大腸がん	乳がん	肺がん	肝がん	計
2016年度	159	286	175	381	75	1076
2017年度	171	344	200	387	45	1147

○脳卒中

脳卒中に対しては脳神経外科と神経内科のチームで24時間365日脳卒中治療体制を敷いており、クリッピング手術、血栓溶解療法、脳血管内手術を常時行える体制にあります。脳梗塞については適応であれば血栓回収療法を行っています。脳梗塞患者の約97%の方が3日以内にリハビリテーションを開始しています。治療後も、リハビリテーションを継続的に進めるように法人内の上林記念病院、尾西記念病院の回復期リハビリテーション病棟と連携をとっています。また、法人内の居宅介護支援事業所を通じて家に帰ったときの支援も行っており、脳卒中に対して法人全体で治療から在宅支援まで取り組んでいます。

○急性心筋梗塞をはじめとする心疾患

心臓血管外科、循環器内科で編成される「ハートチーム」により、密接な連携をとりながら緊急対応、早期治療を行っています。院内には循環器内科医が24時間に常駐しており、院内外問わず、心臓疾患での救急要請があった場合には即座に対応出来る体制を構築しています。また、ドクターカーを有しており、遠方の病院に対しても困難例の救急患者の受け入れを行っています。

○糖尿病

糖尿病サポートチームにより、糖尿病教室やオープンセミナーを実施しています。

○精神疾患

同法人の上林記念病院、いまいせ心療センターと連携をとっています。

○救急医療

「24時間365日、いつでもどんな怪我や病気も断らない」の基本方針に沿うべく、救急医療体制を整備しています。とくに生命、予後に関わる脳卒中、心疾患に対しては前述のとおり常時専門医がいる体制を敷いています。また、麻酔科医が24時間常駐しており、迅速に緊急手術を行えるよう整備しています。

○ほか

- ・切断指の再接着に対応しています。
- ・ロボットスーツ医療用HALを導入し、神経難病に対するリハビリテーションを行っています。

④ 自施設の課題

1. 人材の確保と育成

最新の医療機器、医療技術を整え、医療の質の向上を図っていくために医師、看護師、他コメディカル等を継続的に確保し養成することが課題です。

2. 病院機能の整備

「がん」、「脳血管疾患」、「心疾患」、「救急医療」については、化学療法室の拡充などのハード面や人材面でも更なる整備が必要と考えています。また、急性期医療を継続して担っていくために、最新の医療機器、医療技術をニーズに合わせ導入することが必要と考えています。

3. 災害時における医療提供

大規模災害に備えて、病院施設・設備の拡充が必要と考えています。また、現存のマニュアル、事業継続計画、訓練など更に整備を進める必要があると考えています。

【2. 今後の方針】

① 地域において今後担うべき役割

- ・がん、脳血管疾患、心血管疾患、救急医療はさらに充実させるべく、医療提供体制を整備します。
- ・現状の診療実績や患者構成を考慮したとき、急性期病院としてのニーズが高いため、これまでどおりの高度急性期および急性期医療を提供していきます。
- ・一宮市の中心部に2つの災害拠点病院がありますが、当院は一宮市西部の災害医療を担い、共同して医療にあたるべきと考えています。

② 今後持つべき病床機能

現在のとおり、急性期医療を担っていきます。また、法人全体の機能をもって在宅医療も含めた地域包括ケアシステムの構築ができるように、法人内で病床機能の集約と再編を検討協議しています。（下記病床数には、上林記念病院及びいまいせ心療センターの精神科病床は含みません。）

■2018年7月現在

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中、休棟・廃止予定等	計
一宮西病院	8床	457床	床	床	床	465床
上林記念病院	床	60床	95床	102床	床	257床
尾西記念病院	床	44床	93床	床	床	137床
計	8床	561床	188床	102床	床	859床

■2025年

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中、休棟・廃止予定等	計
一宮西病院	34床	537床	230床	床	床	801床
上林記念病院	床	床	床	58床	床	58床
計	34床	537床	230床	58床	床	859床

【急性期について】

急性期病棟を一宮西病院に集約、一部を高度急性期とし、効率的な医療を提供する。

【回復期について】

回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟を設け、回復期機能を強化する。

【3. 具体的な計画】

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

【一宮西病院 単体】

	現在 (2018年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	8	→	34
急性期	457		537
回復期			230
慢性期			
(合計)	465		801

【杏嶺会 G 全体】

	現在 (2018年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	8	→	34
急性期	561		537
回復期	188		230
慢性期	102		58
(合計)	859		859

・地域医療に対する利便性を高め、効率的でより高度な医療の提供を行うため、病床機能を一宮西病院に集約する。

・2022年11月に一宮西病院新館竣工予定で計画策定中。

② 診療科の見直しについて

現在以下の診療科の新設を検討している。

【内科系】血液内科・腎臓内科

【その他】腫瘍内科・緩和ケア・リウマチ・感染症内科・歯科口腔外科

以上